

令和7年11月25日



各種取組みのご紹介

アスファルト合材 再生大粒径 中温化

本工事では設計アスファルト合材を再生大粒径As中温化に変更する事で舗装厚さを薄くしても同等の耐久性を確保する事が可能になりました！

舗装厚さが薄くなる事により廃材の排出量も抑える事が出来、且つ中温化技術を活用する事で使用燃料等の削減にも繋がりました！！



i-Construction・ICT施工



今後10年間で高齢化等による労働力の大幅低下が避けられない建設業界においてICT (Information and Communication Technology)、情報通信技術を調査・測量、設計、施工、検査、維持管理・更新まで全てのプロセスに活用する事で効率的な作業と生産性の向上が期待できる取組みであります。

【目標】**2040年度までに建設現場において少なくとも省人化3割**すなわち、**生産性1.5倍**に向上
多様な人材が活躍でき、**未来へ前向きな新3K**(給与、休暇、希望)を建設現場で実現

<施工のオートメーション化のイメージ>



※本工事では既設舗装版の取壊し（路面切削）
を**オートメーション化（マシンコントロール）**にて施工を致しました。

国土交通省HPより